

韓国には耳を傾けるべきたくさんの科学がある



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2019年10月21日(月) [SAFETY](#)

ほとんどすべての人がビスフェノール A (BPA) のことを聞いたことがあるでしょう。私たちのほとんどが知りたいのは、BPA に曝露しているかどうか、そしてもしそうなら、その曝露レベルが安全かどうかです。毒物学の基本原則で簡潔に述べられているように、曝露レベルが重要です。-「[毒か薬かは用量次第。](#)」

この原則の通りに、私たちは害を及ぼされることなく日常生活の多くの物に微量レベルで曝露しています。しかし、処方薬からアルコール飲料まで、ほぼすべてのものを過剰に摂取すると有害となるでしょう。

消費者製品の使用を通じて接触する物質の曝露レベルの測定と安全性評価は、公衆衛生当局を当てにしています。おそらく、曝露レベルを測定する最良の方法は、対象物質の生体サンプル（例えば、尿、血液）の分析を伴うバイオモニタリングとして知られる科学技術を用いることです。

私たちの体は、曝露した BPA を尿中に素早く排泄するので、BPA の場合、尿サンプルの分析が最も一般的に行われます。尿中 BPA の量を測定することは、BPA 曝露レベルを測定する簡単で正確な方法です。

[最近の科学論文](#)で報告されているように、韓国の公衆衛生当局は、バイオモニタリング研究の実施に特に積極的です。最新の研究は、食品および調理に関連する潜在的に有害な物質を分析する目的で、国立食品医薬品安全評価院(NIFDS)が実施したものです。この研究では 2,000 人以上の参加者が含まれており、BPA を含む 69 物質のレベルを測定しています。

この研究結果に基づくと、韓国の全住民の典型的な BPA 曝露は、韓国の食品医薬品安全処

(MFDS)が以前設定した[安全摂取レベル](#)の500分の1未満です。

これらの新しい結果は、韓国当局によるBPAに関する他の3つの大規模バイオモニタリング研究結果と一致し、確認されているため、特に安心感があります。[2つの研究](#)は国立環境研究所(NIER)が行ったもので、[3つ目の研究](#)はMFDSが行ったものです。

各バイオモニタリング研究で同様のBPA曝露レベルと分かり、すべてが「BPAの食事曝露または統合曝露による一般的な韓国国民の健康への懸念はない。」と言う[MFDSの結論](#)を支持しています。

これはすべての韓国人にとって素晴らしいニュースですが、韓国人以外の人たちにとってどういう意味があるのでしょうか？ BPAのバイオモニタリング研究を実施したのは、韓国当局だけではないことが分かっています。

近年、米国とカナダで大規模バイオモニタリング研究が行われており、韓国で報告された結果と同様の[結果](#)が得られています。さらに、[世界中で](#)100を超える小規模バイオモニタリング研究が実施されています。これらすべての研究による大量のデータに基づいて、韓国でMFDSが述べたように、BPA曝露による健康上の懸念はありません。